

全国スポーツ推進委員功労者表彰



スポーツ推進委員 板場基司

この度は、全国スポーツ推進委員功労者表彰を頂き、ありがとうございました。振り返ってみれば、職場でのスポーツ諸大会に始まり、体育協会委員、スポーツ推進委員として、人生の大半をスポーツと共に過ごして参りました。表彰にあたり、住民の皆さまのご理解とご協力、先輩方のご指導、委員会関係者のご尽力、そして、家族の支えに感謝しています。今後も住民皆さまの交流や健康づくりに委員会がその役割を果たせるよう研鑽し、貢献できるよう努めたいと思っております。

全国 30 年勤続スポーツ推進委員表彰



スポーツ推進委員 内藤香實

この度、30 年勤続スポーツ推進委員表彰を頂き、大変嬉しく思っております。と同時に 30 年も経ったのかという感慨の思いでいっぱいです。確か 40 代半ばで任命され、何もわからないまま引き受けました。様々な思い出も、一重に町当局のご支援とスポーツ推進委員の諸先輩方の粘り強いご指導の賜物と思っています。

人生百年を目の前にして、自分が元気、地域が元気、町が元気であるよう、これからも仲間と共に体力、気力づくりに努めていきたいと思っております。

兵庫県スポーツ推進委員功労者表彰



スポーツ推進委員 美喜知恵

この度はこのような賞を頂きありがとうございます。10 年間続けてこれたのは多可町スポーツ推進委員の方々と事務局をしてくださる役場の職員さんの人柄、そしてイベントに参加してくださる皆さんの笑顔のおかげだと思っております。これからも楽しく頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

全国 30 年勤続スポーツ推進委員表彰



スポーツ推進委員 高木匡代

全国 30 年勤続スポーツ推進委員表彰ありがとうございます。30 代で体育指導員として携わり、町民・先輩に支えていただきながら活動する事ができました。

名称変更されたスポーツ推進委員としての役割を再認識しながら、スポーツによる町民の健康や活力ある地域づくりに取り組んでいきたいと思っております。

出前教室で杉原谷小学校へ

7月2日（日）、出前教室で杉原谷小学校5年生の親子ふれあい活動に行きました。まずは、スポーツ推進委員の指導の下、集まった親子約 40 人は、キンボールを使ったリフティング、鬼ごっこでウォーミングアップ。つづいて、チームに分かれてキンボールの試合を行いました。大きく弾むキンボールに右往左往しながらも、大きな歓声が上がっていました。集まった親子は、チームのために協力してプレーすることで、絆を深めていました。

スポーツ推進委員会では、出前教室を行っています。各種団体などでのニュースポーツなどの指導を希望される方は、生涯学習課までお問い合わせください。



*編集余話*モルックを初めてやりました。おもしろい！皆さんもやってみませんか？道具の貸出しも可能です。

ワクワクすぽ〜っ

第 16 号 ((♡)) 令和6年2月1日発行

●今号の主な内容

1P～3P：わくわく♡健康教室

2P～3P：各種事業の様子

4P：功労者表彰
出前教室

第1回～3回わくわく♡健康教室



▲老若男女が一緒にプレーを楽しむことができるボッチャ

【第1回】ボッチャ、ドッジビー（5月28日）

今年度1回目のわくわく健康教室は、ポールウォーキング、ボッチャ、ドッジビーを行いました。まず、ポールウォーキング。足と手がうまく合わずに苦戦される方もありましたが、ポールの長さを合わせてあげることでスムーズに歩けるようになりました。ボッチャは的となるジャックボールにいかに自チームの玉を多く近づけるかがカギになりますが、相手チームの玉にぶつけて弾いたり、ジャックボールぴったりに投げたり…と皆さん上手で大変盛り上がりしました。最後にドッジビー。大人も子どもも入り乱れて行いました。思わぬ動きをするフリスビーに怯えながらもケガなく楽しめたので良かったです。

（スポーツ推進委員 美喜）

【第2回】ボッチャ、ガラッキー（6月28日）

「エ〜!!」開閉会時アスパル体操音源変調？に慌てたり、参加者が初回より若干少ない…との事前情報など、年間回数増で始まった今年度わくわく健康教室の2回目も、概ね盛会だったと思います。

内容はボッチャ、ガラッキー+ポールウォーキングで、参加者 16 人（内子ども 5 人）、スポーツ推進委員関係スタッフ 11 人で、ワイワイと楽しく行いました。各種目実施中はもちろんのこと休憩中も参加者同士の会話等があったりと、自然な交流ができたようで、開催意義を再認識したところです。

（スポーツ推進委員 竹本）



▲最後まで勝敗がわからないシャフルボード

【第3回】ボッチャ、シャフルボード（7月23日）

非常に暑い日となった7月23日、会場となったアスパルアリーナには31人の参加者が集まりました。参加者はアスパル体操で体をほぐした後、ポールウォーキングの指導を受けて、ウォーキングの練習。意識すると意外に難しく、はじめは戸惑いがありましたが、慣れてくると皆さん、気持ちよく歩かれていました。つづいて参加者は東京パラリンピックの正式種目であるボッチャとシャフルボードに挑戦。どちらの種目もルールは簡単ですが、体はもちろん頭も使うスポーツで、「やってみると奥が深く、難しい。でも、その難しさが楽しい」という感想も聞かれました。

暑い中でしたが、子どもから大人まで、皆さんプレーを楽しまれていました。

（事務局 橋本）



▲輪の中に向かって、ダーマを投げる参加者



▲狙いを定めてシュート

第4回～5回わくわく♥健康教室



▲大会はチームに分かれて行われ、各チームが優勝をめざした

【第4回】ボッチャ大会（8月20日）

酷暑の半日、温度計は急上昇。この日は、ボッチャ大会の日でした。小学1年生の7歳から70代の方まで、まさにどの世代が参加してもできる種目であったと思います。

暑さに負けず21人の参加者で8チームが参戦し、亀の甲方式の予選と、決勝トーナメントを戦いました。子どもたちは、元気ハツラツ大胆な投球と…。中高年は、熟慮を重ねながらの慎重な投球と…。興味深い対戦でした。試合の結果は、中高年チームに軍配が上がりました。今日は賞品もかかっていたので、いつもより真剣な！？感じでした。

（スポーツ推進委員 内藤）

【第5回】スーパードライブ、シャフルボード（9月24日）

シャフルボードは、客船の甲板で船客同士が行っていたものが原型とされています。そのため、細いコートで争います。ディスクを押し出すところの反対側に三角形のダイアグラムがあり、そこには、10点・8点・7点・マイナス10点があります。おもしろいのは、カーリングのように、ディスクが別のディスクに追い出されてしまうと点数が入らないところにあります。これを利用して、相手に点数を取らせないようにしたり、自分のチームが点数を取れるようにしたりします。今回初めての方もいましたが、何度かディスクをシュートしていくうちに、感覚がつかめてきて、得点が入るようになってきました。また、相手チームの邪魔もできるので、相手に邪魔をされると悔しい顔になります。1回のゲームで何度も形勢が逆転することも多く、最後までどちらが勝つか分かりません。子ども達は、最初はなかなか得点のエリアまでディスクが届かないのですが、届くようになると、点数を狙ってシュートするようになってきて、点数が入れば歓声が起きます。大人も点数が入れば、子どもと変わらずとても喜んでおられました。体力がなくても気軽にできて、おもしろい「シャフルボード」。あなたもやってみませんか？

（スポーツ推進委員 杉原）

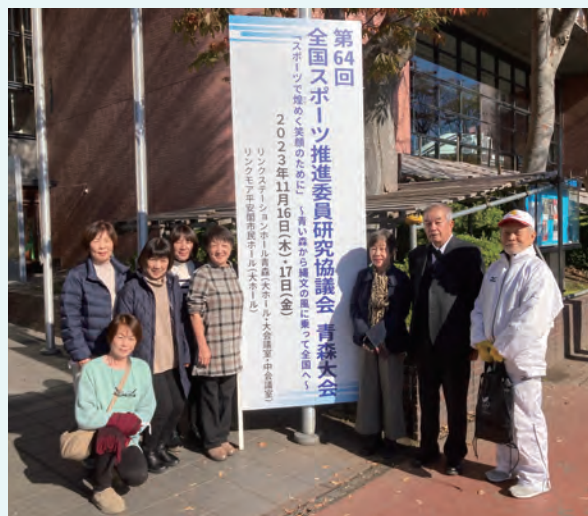


▲最後までどっちが勝つかわからないシャフルボード

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会（青森大会）

11月16日～17日、青森市において第64回スポーツ推進委員研究協議会が開催され、全国から4,000人以上のスポーツ推進委員が一同に会しました。協議会は地元高校生による津軽三味線の演奏で幕を明け、つづいて功労者表彰の表彰式、福士加代子さんによる基調講演、シンポジウムなどが行われ、全国の委員が意見を交わしました。

なお、表彰式では、多可町からも3人の委員が表彰されました。（※詳しくは4ページ参照ください）



▲会場となったリンクステーションホール青森にて

第6回～7回わくわく♥健康教室



▲初心者でも気軽に楽しめるスーパードライブ

【第6回】スーパードライブ、ドッジビー（10月15日）

今回は毎度のスーパードライブとドッジビー。どんな出会いがあるか？スーパードライブは毎回一人一人の性格が出る！攻めたい人。返したい人。毎回相手の懐に入って気持ちを乗せていく。

ドッジビーは参加の皆さんを小学生の気持ちにタイムスリップ！ワーワーキャーキャーが有ったか無かったか、私の頭の中では五月蠅いほどの声が聞こえてきましたが、久しぶりのタイムスリップにうっすら汗ばんでしまいました。

（スポーツ推進委員 小西）

【第7回】スーパードライブ大会（11月26日）

今年最後のわくわく健康教室となった今回は、24人（うち小学生4人）の参加者とスポーツ推進委員12人が参加して、スーパードライブ大会を開催しました。

大会は、亀の甲方式の予選を行い、その結果によって組み合わせられた決勝トーナメントで各チームが優勝をめざしました。スーパードライブはダブルスで、スマッシュ禁止、ボールやラケットが普通の卓球より大きいなど、初心者でもラリーを楽しむことができるようなルールになっているため、決勝トーナメントでは白熱したラリーが数多く見られました。

また、試合の合間には、スポーツ推進委員によるガラッキーの指導も行われ、真剣勝負の合間にホッとしながら、ガラッキーを楽しむ姿も見られました。

大会には賞品も用意され、勝負の後には、皆さん笑顔になっていました。

（事務局 橋本）

腕を伸ばして懸命にボールを返す参加者▶



▲幅広い世代間で熱戦が繰り広げれた



障がい者スポーツ大会

多可町身体障害者福祉協会などの主催で10月28日に開催された第16回多可町障がい者スポーツ大会。大会には、障がいをお持ちの方やその家族などが、スポーツを通じた交流をしようと参加されました。スポーツ推進委員会からも5人が参加し、アスパル体操の見本やガラッキー、ストラックアウトの補助を担いました。

また、お昼の休憩時間には、障がい者スポーツであるボッチャの指導をスポーツ推進委員会が実施。初めて体験された方からは、「簡単で、楽しい」という声が聞かれました。



▲コロナ禍で4年ぶりの開催となった障がい者スポーツ大会には約160人が集まった